

大阪府地球温暖化防止活動推進員

第9期募集!

地球温暖化の原因である二酸化炭素等の温室効果ガスの排出を抑制するためには、府民一人ひとりが身近なところから省エネ行動に取り組むことが求められています。大阪府では、各地域において地球温暖化防止に向けた活動に取り組んでいただける方を「大阪府地球温暖化防止活動推進員」(以下「推進員」)として委嘱しています。このたび、第9期の推進員を募集しますので、お知らせします。

- 応募要件**
- (1) 熱意を持って取り組んでいただける方
 - (2) 年齢が満18歳以上の方 (ただし、高校生を除く)
 - (3) 大阪府内に居住、または通勤、通学されている方
 - (4) 地域での活動を行える方
 - (5) 毎年1回、活動状況を大阪府に報告していただける方

任期 平成30年10月1日(月)から平成32年9月30日(水)まで

募集締切 平成30年8月31日(金)必着

応募方法 応募用紙に必要事項を記入の上、郵送、FAX、電子メールのいずれかでご応募ください。

●詳細は…

※応募用紙は大阪府ホームページからダウンロードできます。[大阪府 活動推進員] 検索

提出先 大阪府環境農林水産部エネルギー政策課 環境活動推進グループ

書類審査等

- ご提出された応募用紙による書類審査で委嘱を決定します。
- 大阪府は、推進員の活動中の万一の事故等に備えてボランティア活動保険に加入いたします。
- なお、10月上旬に委嘱式を開催する予定です。

大阪府地球温暖化防止活動推進員とは

- 「地球温暖化対策の推進に関する法律」第37条の規定により、地域における地球温暖化の現状及び地球温暖化対策に関する知識の普及並びに地球温暖化対策の推進を図るため、2年間の任期で都道府県知事等が委嘱するものです。大阪府では、平成14年度から設置。現在、第8期の推進員として93名の方を委嘱しています。
- 推進員の方は、大阪府、大阪府地球温暖化防止活動推進センター、関西広域連合等が主催する環境に関する研修に参加することができ、知識の向上やスキルアップが図れます。
- 推進員の方には、地域の学校等での出前講座の講師や推進員同士でチームを組んで地球温暖化防止に向けた活動に取り組んでいただくほか、大阪府の事業(家庭の省エネアドバイスを行う事業など)にご協力いただくなど、様々な形の活動で貢献していただけます。

お問い合わせ先 大阪府環境農林水産部エネルギー政策課
 [電話] 06-6210-9549 [FAX] 06-6210-9259
 [メール] enesesaku-02@mbox.pref.osaka.lg.jp

永和信用金庫様

「エコ定期積金」募集のお知らせ

永和信用金庫さんでは、お客様に地球環境問題を訴え、一人でも多くの方に関心を持ってもらうことを目的に、個人向け定期積金「えいわエコ定期積金」を募集されています。契約高の一部は大阪府地球温暖化防止活動推進センターに寄付され、環境保全事業の促進に役立てられます。

お取り扱い期間 平成30年 8/1(水) ▶ 9/28(金)

ご利用いただける方	個人(個人事業主さまも含む)・法人 ※事業性融資残高のある方もご利用いただけます。
お取り扱い期間	平成30年8月1日(水)~平成30年9月28日(金)
お積み立て金額	毎月3万円以上20万円以下(1万円単位)
ご契約期間	3年(36回)
適用金利	0.40%(税引後0.318%)
税金	個人のお客さまの給付補てん金には、20.315%の源泉分離課税(国税15.315%、地方税5%)がかかります(マル優は利用できません)。法人のお客さまは総合課税となります。
中途解約	定期積金(スーパー積金)規定によります。
その他	預金保険制度の対象商品です。

詳しくは、お近くの永和信用金庫さんの窓口にお問い合わせください。

えこっとSAKA

「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこっと(少し)だけ、えーこと(良いこと・やさしい)、エコロジカルにしようと、大阪言葉を交えた意味を含めています。

編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社 TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 http://osaka-midori.jp/ 編集協力・印刷/株式会社ウィルハーツ 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 2F TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 http://www.w-hearts.jp/

マスクットキャラクター「えこたま」
 毎月16日は「ストップ地球温暖化デー」

エスディージーズ SDGs (持続可能な開発目標) をご存知ですか。



持続可能な開発目標 (SDGs)

- ◇2015年9月、ニューヨーク国連本部において、193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。
- ◇気候変動や格差などの幅広い課題の解決を目指しています。
- ◇先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく目標です。

Win-Winの発想

SDGsのゴールの中には、一見すると両立させることが困難であり、トレードオフの関係にあると思われるものもあり得ます。しかし、だからこそシナジーをもたらす統合的な解決が求められるのであり、他のゴールを考慮するなど視野を広げることにより、「どちらか」ではなく、Win-Winの発想で「どちらも」を追究することが重要と考えます。

さまざまなステークホルダーとの連携

日本では、より広範で多様なステークホルダー(利害関係者)との強化された連携を重視し、行政、NGO-NPO、有識者、民間セクター、国際機関、各種団体等が集まり意見交換を行うSDGs推進円卓会議が設置されました。この円卓会議等の枠組みを活用して、より広範な市民のSDGsに関する認知や理解が向上するよう、様々なメディアを通じて全国の人々に働きかけていく必要があります。

目指すべき社会の姿から振り返って、私たち一人ひとりが現在すべきことを考えていくことが大事ではないでしょうか。

地球温暖化対策に関連する10のゴール

SDGsの17のゴールのうち、大阪府では10のゴールが低炭素・省エネルギー社会の構築に関連するものとしています。

2 熱をゼロに	11 住み続けられるまちづくりを
3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任
6 安全な水とトイレを世界中に	13 気候変動に具体的な対策を
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	14 海の豊かさを
9 産業と技術革新の基盤をつくろう	15 陸の豊かさも守ろう

包摂的で安全かつ強靭(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
 持続可能な生産消費形態を確保する
 気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
 持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
 陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の防止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



2018年8月10日
大阪府民の森 イベント情報
 イベント担当/ (一財)大阪府みどり公社 大澤
 TEL.06-6266-1038 FAX.06-6266-8665
 mail:ryokka@osaka-midori.jp
 詳しくはホームページで
 大阪府民の森 検索

夏休み実験工作
夏の金剛山で草木染め
ちはや園地ガイドウォーク

むろいけ園地からほしだ園地まで歩こう
クライミングフェスティバル2018

野鳥観察会
星空観察会

野鳥観察会
星空観察会

野鳥観察会
星空観察会

野鳥観察会
星空観察会

えこっとSAKAにご意見をお寄せください。ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、どしどしお寄せください。
 ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>

「えこっとOSAKA」を購読しませんか? 継続して購読されたい方は、1期(年3回発行)送付分の切手、82円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分から送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。
 ●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター
 お近くの市町村(環境担当部署)、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっとSAKAは、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です。本紙は1部あたり10.2gのCO₂(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施の省エネプロジェクトで創出されたクレジットでオフセットしています。





ゲームで学ぶSDGsってええやん

開催レポート

みんなで目指そう持続可能な未来社会・おおさか

6月30日(土) 東芝大阪ビル billage OSAKA 8階イベントスペースにおいて、「ゲームで学ぶ お笑いで知る SDGsってええやん」と銘打ち、公益社団法人関西経済連合会との共催で、持続可能な未来社会を考える「SDGs」のイベントを開催しました。今回のイベントでは、このSDGsをカードゲームで楽しみながら理解し、17のゴールのうち「気候変動」をテーマとして、「持続可能な未来社会・おおさか」を実現するため、何ができるのかを、吉本興業株式会社とパナソニック株式会社からの話題提供もいただき、社会人17名、学生11名、計28名の参加者の皆さんと一緒に考えました。

吉本興業×SDGs ～笑いの現場から伝えられること～

吉本興業株式会社からは、SDGsについて社員が勉強することから始め、その知識や思いを所属タレントに伝え、タレントが発信する行動によって一般の方々に伝えていく、という社内での啓蒙活動について説明がされました。また、「よしもと」が運営する沖縄国際映画祭や、行政と連携した北海道の「みんなわらウィーク」、京都国際映画祭オープニングセレモニーパーティーでのSDGsを題材にした新喜劇の公演など、メディアやエンターテイメントを活用した取り組みの紹介は、大変興味深い内容でした。その他、被災地で漫才「よしもととおぞら花月」を開催するなど、地道な活動も続けておられます。

今後も様々な団体との連携の輪を広げるとともに、行動を促すコンテンツの作成等によって、地域のSDGsを盛り上げていただけたことと思います。

サステナブル・スマートタウン ～SDGs達成に向けたまちづくり～

パナソニック株式会社からは、湘南エリアの中にある、Fujisawaサステナブル・スマートタウン(SST)の取り組みについて説明がされました。

街の店舗、施設、コミュニティ、さらには地域全体まで再生可能なエネルギーの活用やエネルギーマネジメントを連携させ、エネルギー地産地消の暮らしを広げていく、このパナソニックのスマートシティの考え方や技術を結集し、実現したのが、Fujisawa SSTです。

日ごろから街のイベントでコミュニティ醸成を

推進し、いざという時に街全体で防災意識を向上させる「自立と共助のコミュニティづくり」や、「産官学住民が連携したまちづくり」、それぞれの取り組みの中でSDGs17の目標達成を見据えています。

カードゲーム「2030SDGs」

SDGsの17の目標を達成するために、現在から2030年までの道のりを参加者が疑似体験するこのカードゲームは、与えられたお金と時間を使い、プロジェクト活動を行うことで自分たちのゴールを達成させる、というもので、一般社団法人イマココラボと株式会社プロジェクトデザインが共同開発したシミュレーションゲームです。

このカードゲームは、ファシリテーター養成講座を受講し認定された公認ファシリテーターの進行のもと行われます。一般に市場に販売されているゲームの多くはルールが明確なため、ルールに従えば混乱することはほとんど無いと思います。

それに対して、2030SDGsカードゲームは、参加した方の判断、行動、関わりによって無限に変化するシミュレーションゲームであるため、ファシリテーターのすすめ方、かかわり方によってはゲーム自体が成り立たなくなる可能性があります。そのような理由から一般販売はされず、公認のファシリテーターがゲームを進行することになっています。

ゲームの概要ですが、「お金が一番大切」や「時間がゆったりたっぴりあるのが幸せだ」、「貧困をこの世からなくしたい」など、このゲームにはいろいろな目標が設定されます。目標を達成するためにプロジェクトを実行しなければなりません

が、プロジェクトによって必要となるお金と時間の量に違いがあります。そのため、お金と時間が記入されているカードを、それらを必要な参加者同士が交渉をし、手に入れながら目標達成を目指す、というものです。

参加者がプロジェクトを行うことで世界の状況に変化が起こり、2030年の疑似世界が徐々に姿をあらわしました。今回のゲームでは、経済活動は順調に広がっている一方、環境悪化に拍車がかかるなど、参加者全員が行うプロジェクトの結果、世界が予期せぬ方向にすすみ、軌道を修正するための方向転換を迫られました。

その後、参加者同士が合意形成を図ることでバランスのとれた世界に改善され、ゲームは終了。一人一人がゲームを楽しみながら、「世界のつながり」や「起点」について気づくことが出来る優れたゲームでした。

あなたはどっち？ ～グループディスカッション～

続いて、次の2つのテーマどちらかを選び、その解決策をグループでディスカッションしました。

- A. 省エネが必要・大切と感じている人は多いが、実行に移せていないケース
- B. 省エネに関心が無く、取組みに非協力的なケース

ディスカッション後にグループから出された意見は非常に興味深く、学校の取組みの一環でSDGsについて学ぶことや、省エネしない生活がどのような事につながるのかを可視化するなどし意識向上を促すこと、省エネの達成感を味わうことが出来るようポイント制度を活用することなど、様々なアイデアや意見が出されました。

東大阪市民環境フェスティバル 「食器の物々交換」で見える リユースの大切さ



大阪府地球温暖化防止活動推進員
平田 永代 / 福本 千代美



▲2018 東大阪市民環境フェスティバルの様子。

5月27日(日)に東大阪市民環境フェスティバルが東大阪市花園ラグビー場南側にある花園中央公園で開催されました。

東大阪市民環境フェスティバルは市民の手で開催されるようになって、10年目をむかえます。私たちは立ち上げの中心メンバーとして、実行委員会の中心メンバーとして活動してきました。今では青年会議所のOB、現役、大学の学生たちにも参加して頂き、年々内容も規模も充実してきました。各企業も色々工夫して、環境教育を参加者に楽しく学べるようにされています。行政からも多くの部署が参加し、東大阪市の環境問題について啓発されています。

そんな中、私たちは「食器の物々交換」をしています。不要になった食器を持参していただき、必要とされる方へ無料でおゆずりする活動です。毎回大勢の方が来ていただけます。

最近は持参していただける方も増えてきました。「無料なの?」とか「何の活動なの?」と聞かれることも多く、そのたびにリユースの大切さ、ゴミの削減の大切さを語ります。なかには、活動の趣旨にご理解を頂き応援して下さる方もいらっしゃいます。具体的には、初めに手持ちの食器の重さを計り、持ってきて頂いた重さを計り、最後に残った食器の重さを計ります。その差によって動いた食器の重さがわかります。

現在、年4回開催しています。もうすでに1トン以上の食器が、ごみにならずにリユースされたこととなります。過去にどうしても残ってしまった食器を、再処理工場に運んだこともあります。今は残る量も少なく回転しています。

私たちの活動は小さな取り組みですが、環境問題について関心を持って頂ける一助になればと思います。

会場のようす



カードゲーム「2030SDGs」



カードゲームをプレイするようす



グループディスカッション後の発表の様子

えこ町奉行がゆく!
捕物帳其の拾遺 ● 熱中症・感染症にご用心! の巻

エコには少し無頓着な無田杉家の人々。そんな家族に地球温暖化の現状や対策について、えこ町奉行が鋭く解説します。

初夏から初秋にかけてこの時期は最も熱中症にかかりやすい時期です。特に最高気温35℃を超える日が多い日が続くと搬送者数が非常に多くなります。

府内搬送者数(一人)

日	搬送者数
20	0
25	0
30	0
35	100
40	200

※大阪府気象台ホームページより

熱中症のほかに、気温上昇によってあつらの生活を脅かす健康被害があります。

海外では代表的なものに**デング熱**というものがあります!

それはウィルスや細菌などによって引き起こされる**感染症**です。

デング熱は蚊を介して感染します!

蚊が刺さるから予防しましょう!

そのために蚊に刺されないようにすることが重要です!

蚊の侵入を防ぐには、ドアや窓の開閉は少なく、網戸・防虫剤の活用

肌の露出を減らす、虫よけスプレーを使う

放置された植木鉢の皿、空き缶やペットボトルを撤去し水たまりをなくそう

蚊の侵入を防ぐには、ドアや窓の開閉は少なく、網戸・防虫剤の活用

熱中症も感染症も身近な問題! 正しい情報や知識を身につけてしっかり対処しましょう!

熱中症にならないようしっかりと予防策を知っておきましょう!

屋外では帽子

こまめに水分補給

日陰を利用

手のしびれ、めまい・立ちくらみ、筋肉痛・筋肉の硬直、気分が悪い

涼しい場所で休憩、水分・塩分を補給

頭痛、吐き気・嘔吐、倦怠感、意識がおかしい

衣服をゆるめる、体を冷やす

意識がない、返事がおかしい、まっすぐ歩けない、体が熱い

救急車を呼び、病院へ

※蚊を媒介する感染症について、詳しくは厚生労働省HP (<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164483.html>) をご覧ください。